

令和 7 年度

事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日



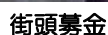
社会福祉
法人

大阪市港区社会福祉協議会

管理運營部門

法人運營

- 港区社協だより発行 2回



Three cartoon rabbit-shaped pins are arranged in a row on a light-colored wooden surface. Each pin features a character with a pink hat, blue dress, and yellow shoes. The character on the left has a yellow flower on its hat, while the other two have a yellow star. The pins are made of a dark material with a white outline and are attached to a wooden base.

テーマ型基金の周知

地域福祉活動の推進

(1) 第3期港区地域福祉活動計画推進にあたっての後方支援

昨年同様、各地域において取組みを話し合う場や振り返る場を設け、地域活動者のみなさまや、関係機関との情報共有をおこないました。また、4か年計画の3年目として、中間報告会「㊤㊤㊤ちいき自慢」を開催し、各地域の“イチ押し活動”を発表。関係機関や企業、行政も参加し、計画の進捗や地域活動の魅力を再発見できる場となりました。

● 計画推進に向けた話し合いの場づくり

地域	中間報告に向けての話し合いの場	3年目の振り返り会議
波除	9月17日（水）	3月6日（金）
弁天	8月26日（火）	2月18日（水）
磯路	9月25日（木）	1月13日（火）
南市岡	8月18日（月）	2月26日（木）
市岡	9月25日（木）	2月2日（月）
田中	8月27日（水）	3月25日（水）
三先	9月5日（金）	1月30日（金）
池島	9月22日（月）	2月10日（火）
八幡屋	9月10日（水）	3月12日（木）
港晴	9月30日（火）	3月26日（木）
築港	9月2日（火）	3月4日（水）



振り返り会での集合写真のようす



㊤㊤㊤ちいき自慢
(講師：鈴木大介 氏)

● 第3期港区地域福祉活動計画の中間報告（㊤㊤㊤ちいき自慢）

令和7年10月25日 参加者：197名 講師：大阪成蹊大学 准教授 鈴木 大介 氏)

(2) 地域福祉活動の支援

● 地区社協活動の支援

地区社協会長会の開催 令和7年7月3日 出席：20名（地区社協会長、連合女性部長）

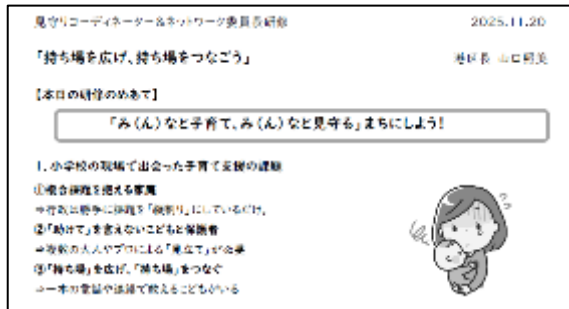
「第3期地域福祉活動計画の進捗について」、「共同募金配分金事業について」、「善意募金の取組みについて」※敬老のお祝い品の配布について

● 地域ネットワーク委員会活動の支援

- ・ ネットワーク委員長会の開催（毎月第2金曜日）※8月は休み
- ・ ネットワーク委員長・見守りコーディネーター合同研修

11月20日「まちぐるみで子育てを支えよう～地域福祉サポート事業の拡充に伴って～」

講師：港区長 山口 照美 氏



NW 委員長・見守り CO 合同研修会



つながりあえる地域みんなと

ネットワーク委員会・民生児童委員協議会合同研修

「つながり合える地域みんなと（港）～わたしたちの見守りが地域をつくる～ 其の2」

9月9日 111名参加

講師：神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 准教授 川本 健太郎 氏

● 地域活動協議会福祉部会活動の支援

地域の実情に合わせて、相談対応などの支援を実施し、地域の福祉推進の目的に沿って区社協が支援した。

● 実態調査に基づく小地域ごとの地域情報の整理

Happy システムを活用し、全地域の地域情報や地域資源などについての情報を整理

● 定期的な事例検討会の開催

コミュニティワーク事例検討会の実施 2回

講師：佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 金田 喜弘 氏

(3) 子育て支援と青少年、児童、障がい者（児）のための福祉活動

● 港区みんなと子育てしチャオ会（子育て支援連絡会）の運営

- ・ みんなと子育てしチャオ会（子育て支援連絡会）の開催 12回
- ・ 子育て支援情報誌「みなときっず」の発行 4回
- ・ 研修 「ひとり親家庭を支える社会へ」

12月10日 31名参加

講師：公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会 鼓 氏、平出 氏

- ・ 未就学児の保護者の方がいきいきと子育てができるよう各種イベントを開催

「水あそびしチャオ！」 5月29日 70名（親子34組）

「みなとキッズパーク」 7月11日 87名（親子37組）

「公園あそびしチャオ！」 10月31日 悪天候により中止



「みなとキッズパーク」



「公園あそびしチャオ！」

● こどもの居場所実施団体との連携および情報共有の実施

・ 港区こどもの居場所連絡会の開催

第1回 4月24日 参加団体：16団体 オブザーバー：5人

第2回 7月2日 参加団体：12団体 オブザーバー：8人

第3回 10月1日 参加団体：16団体 オブザーバー：4人

第4回 1月9日 参加団体：13団体 オブザーバー：5人

・ 連絡会企画会議（PT）の開催

第1回 5月21日 企画メンバー：4人

第2回 8月20日 企画メンバー：3人

第3回 11月19日 企画メンバー：3人

第4回 2月17日 企画メンバー：4人

・ 港区こどもの居場所マップの配布

令和7年3月31日完成 8,000部を区内の全小・中学校へ配布



福祉のひろばでの出展のようす



港区こどもの居場所マップ

● バリアフリー映画会の開催

令和8年2月7日 港区民センター 参加：129名

上映作品「港に灯がともる」

● 障がい者団体への活動支援

- ・ 区自立支援協議会への参画 3回
- ・ 港区障がい者施設連絡会（ポートネット）への参画 12回



バリアフリー映画会

(4) 福祉教育の実施

区内の小中学校にて、学生や先生、地域関係者とともに、地域で暮らす高齢者や障がい者への理解を深めるために、障がい当事者や社会福祉施設職員等の協力を得て、福祉教育を実施。

- ・ 小中学校への出前授業の実施 6/11 池島小、7/14 波除小、9/16 市岡中、11/21 田中小、12/4・12/10 南市岡小、1/15・1/29 築港中、2/6 築港小、2/27 市岡小、小学校6校、中学校2校 延べ10回
車いす体験、視覚障がい者の方のお話と盲導犬、高齢者疑似体験、手話体験など
- ・ 認知症キッズサポーター養成講座の実施 9/25 築港中、2/6 築港小 延べ2回
- ・ 地域防災リーダー、区役所、消防署等と連携し、防災学習を実施
11/19 市岡中 延べ1回



車いすの介助体験



高齢者疑似体験

(5) 区社会福祉施設連絡会の運営

- ・ 幹事会 6月30日、7月23日、12月22日、1月27日、2月19日 計5回
- ・ 総会 7月23日 港区社協 出席者25名
- ・ 一水会合同学習会 2月6日 「社会福祉施設の地域における公益的な取組の推進に向けて」
オンライン開催
- ・ 合同研修会 2月19日 港区民センター7階ホール
「福祉×防災×コミュニティ みんなで助かるために」
講師：(一社)福祉防災コミュニティ協会理事兼福祉防災上級コーチ
湯井 恵美子(ぬくい えみこ)氏
講演、社会福祉施設・業務継続計画(BCP)の机上訓練
内訳 施設職員、地域防災関係者、区役所、区社協 参加者54名
港区地域自立支援協議会と合同開催



令和7年度 総会



合同防災研修グループワーク

(6) 港区キャラバン・メイト連絡会の事務局

キャラバン・メイト連絡会を実施し、定例会の開催、認知症サポーター養成講座の開催に向けた支援を行う。

- ・ 港区キャラバン・メイト連絡会定例会
毎月第3金曜日 オンライン開催 10回
交流会 2回
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催 9回
サポーター養成数 164名
※令和8年3月現在 累積 6,028名
小中学生をはじめ、地域や事業所などを対象に実施



寸劇による認知症の理解

(7) 「地域福祉活動の見える化」広報・情報発信の充実

- ・ ホームページ・SNSによる情報発信（くしゃきょん日記・Facebook・公式LINE等）
- ・ 区社協キャラクター「くしゃきょん」を活用した周知活動の実施
- ・ 広報紙「区社協だより」の発行（年2回） 70号 38,000部、71号 38,000部

(8) その他

- みなとふれあい福祉のひろばの開催 3月7日、港区土地区画整理記念・交流会館
参加者：580名

「第19回みなとふれあい福祉のひろば」を開催。区内の福祉施設や団体などとともに実行委員会形式で企画・運営を行い、ボランティアグループや福祉施設による舞台、展示、体験などのコーナーを設けた、福祉啓発を目的としたイベントを実施。

- みなとこころの講座 12月6日、港区民センター、120名参加

「ひきこもりの兆候とその対応について」講演会 講師：しょうのメンタルクリニック 院長 生野 宏和 氏



みなとこころの講座



みなとふれあい福祉のひろば

- 手話奉仕員養成講座（手話講習会）の開催 全35回 参加30名、終了者27名
- 車いす貸出事業
車椅子、高齢者疑似体験セット、プロジェクターなど 計193回の貸出し（昨年164回）
- 共同募金配分金による事業運営・地域福祉活動団体への支援
配分金4,444,547円地域福祉活動団体へ配分（障がい者団体等への助成28件）

「ひとり親家庭応援プロジェクト！」の実施 10月4日、港区民センター

「ひとり親世帯への食料支援」を目的に集まったテーマ型募金 695,475 円（令和 6 年度募金による）を活用し、ひとり親家庭 230 世帯へお米券の配布を実施。ボランティアや企業・関係機関と協力し、相談ブースやカフェスペースなどを設けて開催。



手話奉仕員養成講座（修了式）



ありがとうメッセージ（テーマ型募金）

● みなと介護家族の会「かもめ会」の事務局

- ・ 定例会 9 回
- ・ 総会 6 月 17 日 交流会「テーマに応じた話し合い」
- ・ 研修、交流会 3 回
 - 10 月 21 日 家族介護支援事業 わがまち音楽会
大阪音楽大学講師 上島 千佳 氏 他仲間
 - 12 月 18 日 クリスマス会「ハーバリウム体験」
田中地域民生委員 結城 陽子 氏
 - 3 月 25 日 お花見



ハーバリウム体験

令和 7 年度は、昨年に続き各地域における第 3 期地域福祉活動計画の推進に向けた後方支援の取組みに重点を置いたほか、計画の中間報告として、「**MSK**ちいき自慢」を開催し、計画の進捗状況や、各地域の“推し活動”について地域活動者自ら発表いただきました。計画の折り返し地点を意識し、年度末のふりかえりの場では、計画最終年に向けて、重点取組みを話し合いました。

また、地域の活動者とのコミュニケーションを大切にし、顔の見える関係を構築し、誰もが活動に参加できるような工夫をして、地域福祉活動の見える化に努めました。

港区ボランティア・市民活動センター（fuku cafe）の運営

（1）港区ボランティア・市民活動センターの運営

- 運営委員会の開催（年 2 回）
第 1 回：6 月 10 日、第 2 回：2 月 13 日
- 作業部会の開催（月に 1 回）

（2）ボランティア養成・スキルアップ

- ボランティア研修・交流会の実施（5 月 20 日） 計 46 名参加
- ボランティア養成講座の開催
 - ・ 夏のボランティア体験 実施回数 8 回、のべ参加者 11 名
 - ・ 花壇ボランティア養成講座 実施回数 3 回 参加者 8 名
 - ・ 保育ボランティアステップアップ講座 実施回数 1 回 参加者 3 名



運営委員会での意見交換

- ・手話 1 日体験「手話でコミュニケーション」 実施回数 1 回 参加者 24 名
- ボランティア研修会の実施（11 月 4 日） 計 12 名参加
- ボランティア交流会の実施（3 月 13 日） 計 22 名参加



ボランティア交流会



夏のボランティア体験

（3） ボランティア・市民活動の支援

- ボランティア・市民活動における相談・支援
- 港区ボランティア・市民活動センタースペースを利用した活動支援
 - ・ café de ひまわり（喫茶月 1 回、コーナー企画など） 喫茶 12 回
- 助成金「ボランティア活動応援資金」の交付 実績 53 万円（17 グループに払出）
- ボランティア保険取扱窓口 受付件数 1,748 件

（4） ボランティアマッチング及びボランティア相談件数

- 援助活動依頼の受付・調整紹介 91 件
- 活動希望者の登録 19 件
- ボランティアグループへの活動の後方支援 63 件
- 関係機関・団体との連携 9 件
- ボランティア相談会の実施（3 月 14 日） 6 件



ボランティア相談会

（5）「港区災害ボランティア活動支援センター」での運営協力ボランティアの養成・区民への啓発

- 災害対策委員会の開催 2 回
- 災害ボランティアセンター運営研修（職員、区役所、地域防災担当、ボランティア）
1 月 17 日



災害ボランティアセンター運営研修

（6） 企業・団体の地域貢献・企業の社会的責任の支援

- 地域貢献希望団体・企業の相談・支援・マッチング 延べ 8 件

（7） 啓発・広報・調査研究

- ボランティア活動情報紙「ひまわりのたね」の発行
 - ・ 年 6 回発行（奇数月） 発行部数 各 3,000 部
- 区社協ホームページ・SNS での情報発信 公式 LINE、Instagram、フェイスブックの活用



のぞみ信用組合での
介護相談＆フードドライブ

「誰もが主役になれる場所」をモットーに、港区ボランティア・市民活動センターfuku café（ふくかふえ）を拠点に、様々な活動ができるようにボランティアや市民活動者の後方支援に努めました。「港区ボランティア・市民活動センター研修会」では、広報をテーマに、グループのチラシ作成について学びました。

また、年に2回実施している港区ボランティア・市民活動センター運営委員会では、運営委員会で出た意見を作業部会で検討・実施していく循環した形で進めており、開かれたボランティアセンターをめざしています。今年度は、新たなボランティアへの参画に向け新しい取組も行いながら、港区のボランティア活動の促進に努めていきたいと思います。

生活支援体制整備事業の受託実施（生活支援コーディネーターの配置）

● 生活支援体制整備事業協議体の開催 年 25 回※

区内の福祉施設専門職・地域のみなさま・行政が主体となり、生活課題や介護予防の場づくりについて検討。

企業や福祉施設の方と共に地域課題について「高齢者の食について」を検討。

ワーキングでは、地域課題や地域の居場所についての情報交換。

※本会議 2 回 ワーキング 23 回（第 1 層協議体ワーキング 12 回、第 2 層協議体ワーキング 11 回）

（合同研修「まちぐるみで子育てを支えよう～地域福祉サポート事業の拡充に伴って～」含む）



第 2 層協議体 会議



第 1 層協議体 会議

● 団塊・シニア世代の地域活動参加促進事業の実施

- ・ 男の百歳体操（毎週火曜開催）
- ・ 「男の料理教室」（年 2 回） 7/30「あんかけ焼きそば」 11/21「鶏そぼろと卵の二色丼」
- ・ ゆうゆうクラブ（団塊世代の男性のボランティアグループ）の活動支援 12 回



男の料理教室

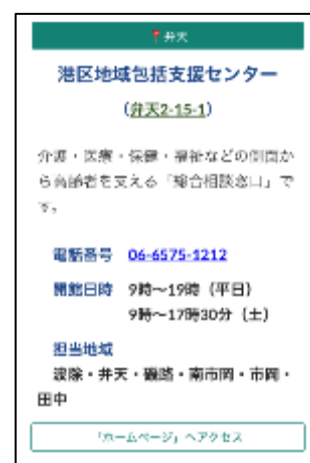


ゆうゆうクラブ定例会

- **生活支援体制整備事業 情報紙「ヨリドリ Minato」の発行**
地域の社会資源や地域での活動についての情報を発信（年2回発行）



- **「あなたも知らない生活情報帳（Web 版）」の公開**
区内の地域サロンや相談窓口など暮らしに役立つ情報をスマホで検索できるサイト



- **有償たすけあい活動の運営**
 - ・「住民の助け合い活動による生活支援事業」
大阪市介護予防ポイント事業の枠組みを活用した要支援者等に対して生活支援活動を提供する活動支援
※利用にあたっては、利用者が1回100円を活動者に支払う。
(他に介護予防ポイント【6P=600円】が活動者に付与される)
- | | |
|--------------|-----------------|
| 介護予防ポイント登録研修 | 3回開催（うち1回は個別対応） |
| 活動登録者 | 9名 利用会員 2名 |
| 活動件数 | 年間50件 |
| 活動内容 | 買い物・移動介助・掃除など |



つながりネットのチラシ

・「くしゃきよんのつながりネット」

区社協独自で行っている有償ボランティア活動支援

※利用にあたっては、30分300円を活動者に支払う

有償たすけあい講座 1回開催、新規活動登録者 5名

活動登録者 64名 利用会員 90名

活動件数 年間468件（月平均39件）

活動内容 付添、話し相手、軽作業、買い物介助、掃除など



有償たすけあい1日講座

● 資源開発・拡充・継続の支援

開発9件、拡充4件、継続7件、講座15件



地域での居場所立ち上げ
（三先モルック体験）



ふれあい喫茶でのスマホ相談会



アスマイルを活用した
ウォーキング体験

令和7年度は新たな試みとして、ポッチャやモルックなどのニュースポーツの活用や、スマホのニーズに合わせたスマホサポーター養成（拡充）などに力を入れました。また、「百歳体操」の通いの場の立ち上げ支援も積極的に行い、高齢者の介護予防や地域でのつながりづくりの推進に努めました。

周知媒体にも力を入れ、「あなたも知らない生活情報帳（Web版）」を作成し、地域の社会資源や地域での活動についての情報発信を行いました。これにより、住民が身近な地域活動や支援サービスを知り、参加や利用につながるきっかけづくりを進めることができました。

地域と連携した見守りネットワークの強化

（1） 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業（見守り相談室）

● 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備、未回答者への訪問

・令和7年度 新規対象者 1,305名 再発送 425名 回答数 683名（同意 528名、不同意 155名）

・現在の対象者数 4,658名（同意者 2,733名、不同意者 912名、未回答 1013名）

・地域見守りマッピングの推進など 4地域でマッピングの更新を実施

● 孤立世帯等への専門的支援

対応数 延べ1,011件（訪問 289件、電話 520件、来所 174件 その他 28件）

相談内容 【本人】夫と離婚後困窮状態が続いていたが今月はすでに食費がないとの相談。
【民生委員】体調が良くないと相談に来られた方がいる。独居なので様子を見てきてほしいとの相談。
【NW委員】うつで仕事を辞めた後自宅へ引きこもっている方がいる。困窮している様子で心配との相談。
【地域住民】不安定な歩き方の気になる高齢の男性が歩いているとの相談。
【警察】保護した方について、自宅まで送り届けたが家族が不在のため再び出ていく可能性がある。見守り訪問をお願いしたいとの相談。

- ・講演会 つながり合える地域 港（みんなと）～わたしたちの見守りが 地域をつくる 其の2～
講師：神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 准教授 川本 健太郎 氏
- ・居場所づくり会議 ひきこもりなどで孤立していたり社会参加の機会が少ない方が安心して過ごせる場の提供。（野菜作り、散策、工作、音楽、モルックなど）



ポッチャ体験



夏野菜植え付け・じゃがいも収穫



クリスマスオーナメントづくり

- ・相談支援機関連絡会（みなまるねっと）への参画（年6回）

● 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見ネットワークの構築「ひまわりじゃらん」

- ・見守り協力事業者 新規登録 0 事業者（累計 308 事業者）
ひまわりじゃらん事前登録者 新規登録 28 名（累計 157 名）
- ・行方不明者メール配信 4 回
- ・ひまわりじゃらん見守り協力事業者情報交換会&声かけ訓練
開催地域：三先地域、池島地域、八幡屋地域、港晴地域、築港地域

前年度全地域での新規実施が終了した地域見守りマッピングについては、令和7年度もマッピングの更新が実施され、町会ごとでの要援護者情報の把握や団体間での情報共有が進められました。更新を通して変化する情報を確認したり、最近の様子を見守り活動者間で共有することで、いざというときに備えた日頃のゆるやかな見守りにつながります。

民生委員・ネットワーク委員を対象にした合同研修会「つながり合える地域 港（みんなと）～わたしたちの見守りが 地域をつくる～其の2」では、講師の先生のお話や参加者からの質問を通して、障がいのある方を見守りについて学ぶ機会となりました。障がいの有無にかかわらず、同じ地域に住む住民として普段の挨拶や関わる心を持ち続けることの大切さを再確認することができました。

生活困窮者自立支援事業と協働し実施している「居場所づくり会議」では、生活困窮や見守り相談室で関わる相談者の方はもちろん、区社協内の他部署と連携することで居場所への参加につながり、参加者同士や関係機関との関わりができた方もいます。今後も関係機関や他部署との連携強化を図りつつ取り組みを継続してまいります。

港区南部包括圏域の協力者・事業者を対象とした「ひまわりじゃらん見守り協力事業者情報交換会」を実施し、協力者同士や地域活動者、関係機関とのネットワークの強化を図りました。声かけ訓練や警察・消防のお話を取り入れることで、認知症の人への対応についてより実践的に学ぶ機会となりました。

(2) 港区地域福祉サポート事業の受託運営

● 地域見守りコーディネーターとの連携による要援護者の個別支援のためのコーディネート活動

①地域住民にいちばん身近な相談者としての「地域見守りコーディネーター」の配置

②福祉専門職との連携やつなぎ 相談支援件数 約 12,600 件

③地域見守りコーディネーター連絡会 毎月第3木曜日開催

・各地域の情報交換、事例検討

・ネットワーク委員長との合同研修

「まちぐるみで子育てを支えよう

～地域福祉サポート事業の拡充に伴って～

④各種研修や地域ケア会議、包括運営協議会、協議体（生活支援体制整備事業）への参加

⑤事業周知（各地域ネットワーク委員会での周知など）

● 支え合いのためのマッチングシステムの運用

①見守りコーディネーターによる「くらしサポーター」の発掘 サポーター数 318 名

②「くらしサポーター」への活動依頼や活動報告の受付 マッチング数 約 44,000 件

● 地域での見守り強化の推進「見守り協力事業者の登録拡充」

見守りコーディネーターによる「見守り協力事業者」の発掘 登録数 284 事業者



くらしサポーター（右）による
配食サービスの様子

生活困窮者自立支援事業（受託期間：令和7年度～令和9年度）

3年間の受託期間の1年目（社会福祉法人みなと寮との共同受託）

区社協における個別相談支援部門との連携により生活困窮者や社会的孤立、ひきこもり状態にある方へのきめ細かな支援を実施。

- 相談支援機関連絡会「みなまるネット」において関係機関とのさらなる関係構築をはかる
- 就労支援・家計相談
- アウトリーチ機能の強化
- 事例報告及び各関係機関の意見交換会の開催

生活福祉資金貸付事業

● 世帯の自立や生活の安定のための貸付にかかる相談

資金種別	電話	来所・訪問
福祉資金	135 件	99 件
教育支援資金	126 件	93 件
緊急小口資金	164 件	103 件
総合支援資金	26 件	21 件
償還等フォローアップに関する相談	453 件	299 件

● 生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンター）との連携

介護予防事業

- 大阪市介護予防事業 いきいきサロン 月1回
18会場 述べ128回 3,859名
- ひまわり健康教室 毎週金曜日 週1回開催（年70回）延べ324名



地域でのいきいきサロン①



地域でのいきいきサロン②

通所介護事業（港区在宅デイサービスセンターひまわり）

（1）地域密着型通所介護・予防通所介護事業の運営

延べ年間利用者数 3,439名
新規登録者数 15名
平均介護度 2
平均年齢 84.2歳（男性86.0歳 女性83.9歳）

- 口腔機能向上サービス
- レクリエーション

個別訓練メニューの実施（日動作訓練など）、
手作業（切り絵、ちぎり絵、折り紙）
リラクゼーションメニュー お誕生日会、
お花見、夏祭り、運動会、演芸大会、
クリスマス会、忘年会（鍋）、節分厄除け



夏祭りの射的 真剣です

- 運営推進会議の開催（令和7年5月開催）

事業所による「抱え込み」を防止し、
サービスの質の確保と地域に開かれた
事業所であるため、利用者・地域住民
の代表者・地域包括支援センターの職
員などに対し、事業運営の内容や提供
しているサービスの内容等について報告、
意見交換などを実施



運動会も本気

（2）港区デイ事業者連絡会の運営（事務局）

デイサービス・デイケアの事業所施設相互の情報交換・連携を目的に開催
2カ月ごとに各事業所の利用状況や現状について、共有・情報発信

（３）福祉教育等への協力

職場体験学習や実習生の受け入れなどに協力

（４）いきがい活動の場を提供（ボランティアグループの受け入れ）

ボランティア活動等の場を提供し、他の地域活動への参加の拡充を図る。

新型コロナウイルスの５類感染症移行後においても、対策を徹底し、できる限り利用者さまに寄り添った家庭的な雰囲気を味わっていただけるようなプログラムの実施に努めました。令和３年度から実施しているサークル活動においても、引き続きご利用者さまの得意を活かした活動に取り組んでいただけるよう、「園芸部（プランターで花や作物を栽培）」、「手芸部（小物やパッチワークの作品づくり）」などを取り入れており、利用者の満足向上につながっています。

地域包括支援センター部門

地域包括ケアの推進

港区地域包括支援センター 担当圏域（波除・弁天・磯路・南市岡・市岡・田中）

高齢者人口：12,769人 高齢化率 22.8%（港区 25.8%）（R8.3 末現在）

地域や関係機関と連携、協働し必要な方が早めに相談窓口につながることを目的に、圏域内の銀行・郵便局等の金融機関を周り、周知活動を行いました。高齢者に身近な場所である信用組合や喫茶店で出張相談会を実施したことで、相談につながったケースがありました。また、市岡地域では地域の介護事業者と地域の活動者の顔の見える関係づくりを目的とした小地域ケア会議を開催しました。

- **総合相談** 延べ 9,505 件（前年度 10,380 件）
うち認知症に関すること 延べ 2,844 件（前年度 3,974 件）
相談実人員 1,064 人（前年度 1,082 人）、相談経路（本人 2,063 件、家族 1,791 件、ケアマネジャー 1,672 件 他）
- **権利擁護・高齢者虐待防止**
通報・相談件数：19 件（9 件が虐待認定） サービス利用調整会議への参加 37 回
虐待に関する相談：341 件 成年後見制度の活用に関する相談：300 件
- **地域ケア会議**
（複合課題のあるハイリスク家族の共有や早期介入のための支援システム構築）
個別ケース：20 回 地域課題抽出：1 回
自立支援型ケアマネジメント検討会議 大会議 6 回 小会議 3 回



令和 7 年 10 月 29 日
自立支援ケアマネジメント小会議（法定外研修）



令和 8 年 2 月 24 日
市岡地域での小地域ケア会議

- **認知症高齢者支援の取り組み**
 - ・ 認知症施策推進事業との連携、認知症学ぼう会（2/25）、専門職向け講演会（12/16）、一般向け講演会（11/15）
 - ・ 見守り協力事業者情報交換会への参画（8/8）
- **専門機関との連携強化**
 - ・ 認知症総合支援事業 ・ 在宅医療・介護連携推進事業 ・ 生活支援体制整備事業との連携
 - ・ 相談支援機関連絡会（みなまるねっと）の実施（年 6 回）
- **ケアマネジャーの後方支援**

港区内 31 事業所のうち 18 事業所が港区地域包括支援センター圏域

包括的継続的ケアマネジメント：ケアマネポートと共催して研修会の開催 障がい相談支援機関と意見交換（9/17）、カスハラ研修（8/20）、包括の事業説明と座談会（1/21）
- **地域との関係づくり**

地域の行事に参加 135 回、圏域内の銀行・郵便局等の金融機関を周り、周知活動。
のぞみ信用組合、喫茶店での出張相談会の実施、市岡地域での小地域ケア会議

老人福祉センター部門

1. 老人福祉センターの指定管理運営

- 登録者数： 863名（前年比151.1%・前年増減数 +292名）
- 利用者数：26,506名（前年比164.6%・前年増減数 +10,401名）

<増加要因>

- ① 「ポ〜トさんだより」の発行部数拡大、「区社協だより」「広報みなと」での露出拡大及びセンター実施事業数拡大の成果。
- ② 開放事業「囲碁・将棋」の大会を年3回実施（対前年1回増）し利用者の裾野が拡大し定着化。（男性利用者増対策） ※年間延べ利用者数：3,054人（前年増減+569人）
開放事業「いきいき百歳体操」においても利用者が拡大。
※年間延べ利用者数：2,027人（前年増減+501人）
- ③ 健康麻雀利用者の飛躍的拡大。インストラクターの丁寧なサポート、利用者の声をタイムリーに反映し運営方法等を改善。 ※年間延べ利用者数：5,855人（前年増減+4,089人）

● 実施事業

（1）高齢者の居場所づくり、孤立防止の取組み

・「スマートフォン相談会」	年間 11回	計 92人
・「健康麻雀教室計」	年間 179回	計 5,855人
・「お誕生会&交流会」	年間 4回	計 525人
・「将棋大会」	年間 3回	計 53人
・「OtoKO未来塾」	年間 2回	計 28人

男性利用者が社会参加、社会貢献に携わる機会の提供、機運を醸成するため「OtoKO未来塾」を始動。

「O」＝「緒」ははじまり、つなぐを意味する。

「KO」＝「個」は個性、「弧」は太陽が昇りかける日の出の様子を意味する。

歳を重ねても個を磨き、日の出のように輝きはじめたいとの意志を持ち続けて欲しい。



「第1回OtoKO未来塾」



「第2回OtoKO未来塾 造幣局」



「3月お誕生会 演芸披露」

（2）健康づくりと介護予防の促進講座

・「いきいき百歳体操」	年間 186回	計 2,027人
・「健康講座」（運動・体操系）	年間 33回	計 969人

（3）健康・体力づくり事業

・「ポ〜トさん・歩（ぽ）」＝社会体験型健康ウォーキング	年間 4回	計 149人
-----------------------------	-------	--------

- ・「ポ〜トさん健康クラブ」(グラウンドゴルフ・ぼっちゃ・スリーアイズ・eスポーツ・脳トレcafé)

年間 8回 計 340人

(4) 生きがい探求講座・教養講座

- ・「教養講座(民間会社:ヤクルト・雪印・明治・その他企業)」

年間 8回 計 262人

- ・「教養講座(専門家・行政・警察署)」

年間 3回 計 86人

- ・いきいきサロン

年間 12回 計 131人

- ・レクリエーション講座(音楽療法・美容系・第一興商・大阪ガス・他)

年間 13回 計 448人



「歌と楽しいレクリエーション」



「いきいき美容教室」

(5) 生きがいづくり事業

- ・「教室合同発表会」

年間 1回 計 270人(開催日・リハ日 計2日)

- ・「作品展示会」

年間 1回 計 226人(開催日・準備日 計3日)

(6) 高齢者の自主的な地域福祉活動支援(人材育成)

- ・「自主サークル代表者連絡会」

年間 5回 計 78人

- ・「ボランティア推進室会議」

年間 3回 計 27人

※その他、健康麻雀インストラクター会議、歌謡クラブ代表者連絡会議、事業企画室会議を非公式開催
 ※高齢者に大切な「きょういく(今日行く)」「きょうよう(今日の用事)」「ちょきん(貯筋)」の3項目
 の中で、特に「きょうよう」を意識して運営。「きょうよう」=「当センター及び地域社会で担う役割」

(7) 地域間交流・世代間交流事業

- ・関連団体交流事業

年間 4回 計 126人

「港区地域包括支援センター」(1回): 成年後見人制度

「子ども・子育てプラザ共同企画」(3回): 七夕飾り・ジャイアント紙相撲・eスポーツ交流大会

- ・「第44回盆踊り大会」

年間 1回 計 141人(開催日・練習日 計2日)

- ・スプリングコンサート

年間 1回 計 188人



「第44回盆踊り大会」



「スプリングコンサート」
〜フルートの調べ〜



「eスポーツ交流大会」
〜子ども・子育てプラザ共同企画〜

(8) 啓発活動・啓発講座

・「物づくりD I Y講座」	年間	12回	計	120人
・「奏筆夢元教室(文化系講座)」	年間	8回	計	131人
・「折り紙教室(文化系講座)」	年間	4回	計	59人

＜年初未計画の実施講座＞ ご利用者の「生きがい」支援は当センターの重要な役割

・「アスマイル登録支援講座」	年間	5回	計	29人
・「大阪万博チケット購入説明会」	年間	4回	計	22人

交流会館に移転して2年目を迎えた令和7年度は当センターの役割である、より多くのご利用者に「健康づくり」「生きがいづくり」「仲間づくり」を体感いただくためにセンター事業を質的にも量的にも追及し一定の成果を創出できたものと評価しています。他方で、新規利用者の拡大により当センターに求める内容が多様性に溢れ、成功体験を積み重ねその延長線で事業を継続するだけでは魅力度の低下を招いてしまう危険性を感じています。

ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、期待感ある事業を企画し当センターの魅力を高めることで、健康維持・増進への支援に貢献して参ります。